

海津市スポーツ推進計画
(改訂版)
(案)

海津市教育委員会

目 次

第 1 章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の背景と目的.....	1
2 スポーツの定義.....	2
3 計画の位置付け.....	3
4 計画の期間.....	3
5 スポーツ推進の意義.....	4
第 2 章 スポーツの現状と課題	5
1 スポーツ推進計画策定のためのアンケート調査.....	5
2 スポーツ推進における課題.....	19
3 数値目標の達成状況.....	20
第 3 章 基本的な方向性	21
1 まちづくりにおいてスポーツが担うべき役割.....	21
2 計画策定の方向性.....	21
第 4 章 施策の展開	25
1 スポーツを楽しむ機会の創出.....	25
2 スポーツ環境の充実.....	29
3 スポーツを推進する人材と組織の充実.....	33
4 スポーツに関する情報の収集、発信.....	36
第 5 章 計画の推進	37
1 市民、団体、市の役割.....	37
2 推進体制.....	38



計画の策定にあたって

1 計画策定の背景と目的

(1) 国、県の動向

国においては、スポーツにおける新たな課題に対応していくため、「スポーツ振興法（昭和36年制定）」を50年ぶりに全面改正し、平成23年（2011年）に「スポーツ基本法」が制定されました。同法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされ、スポーツが国民生活において多面にわたる役割を担っているとされています。また、平成24年（2012年）に策定された「スポーツ基本計画」では、「スポーツ参画人口」を拡大し、「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことが謳われています。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会やワールドマスターズゲームズ2021関西などの国際競技大会が開催されることで、国民のスポーツに対する関心が高まることが期待されます。こうしたスポーツへの関心を一時的な関心に留めず、市民の身体づくりや技能の向上、健康寿命の延伸につなげることができるようなスポーツ施策の展開が急務となっています。

また、岐阜県では、平成17年3月に「ぎふスポーツ振興計画」を策定し、「スポーツ王国・ぎふ」の実現を目指して、生涯スポーツの振興、競技スポーツの振興、学校における体育・スポーツ、の3つの分野を主要分野とし、各分野に目標を掲げ計画を推進してきました。平成27年3月には「清流の国ぎふスポーツ推進計画」を策定し、「スポーツ立県・ぎふ」を掲げ、子どもから高齢者まで、生涯にわたり、自らの年齢、関心、適正などに応じて日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参画することにより、県民が明るく健康で心豊かに暮らし、地域に元気があふれる「清流の国ぎふ」の実現を目指しています。

(2) 計画策定の目的

人はスポーツを行うことによって、喜びや達成感、悲しみや挫折感を覚えます。また、選手がスポーツに懸命に取り組む姿は、多くの人に感動を与えます。また、スポーツを継続的に実施することで体力の向上、健康の維持・増進も期待できます。スポーツによる競争、その結果としての勝敗は、人間的な成長を促し、共に戦った仲間とのチームワークやフェアプレーの精神を育みます。

また、スポーツ基本法では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」としています。

このように、スポーツには、単なる運動にとどまらず、権利として保障されるべきものであり、生活向上という点において、非常に重要な役割を果たします。

スポーツを取り巻く大きな動きとしては、平成27年(2015年)10月に文部科学省の外局として、国のスポーツの振興その他のスポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを任務とするスポーツ庁が設置され、国としてもスポーツの一層の推進に向けて取り組んでいます。また、令和元年にはラグビーワールドカップが開催。令和2年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

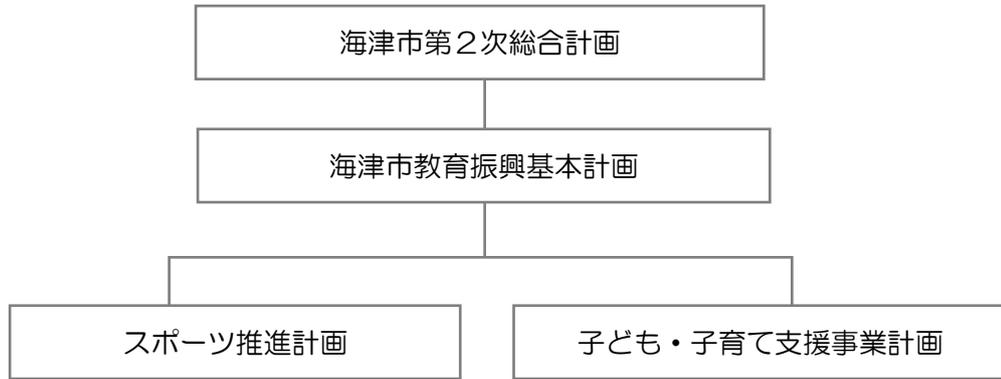
海津市においては、平成27年3月に「海津市スポーツ推進計画」(10年期間)を策定し、「みんなでスポーツ いきいきライフ ～スポーツの力で人と地域が元気になるまち かいづ～」を基本理念とし、本市の特性に応じたスポーツを推進してきました。この度、計画策定から5年が経過し、計画期間の中間年を迎えることから、計画策定後の状況の変化等を踏まえて見直しを行い令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「海津市スポーツ推進計画(改訂版)」として策定します。

2 スポーツの定義

本計画では、推進の対象とする「スポーツ」を、市民に身近なものとして感じてもらい、気軽に取り組んでもらえるように、広い概念として捉えることとします。一定のルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の高いものだけでなく、ウォーキングや軽い体操など、健康増進や介護予防などのために行う運動も含め、「スポーツ」として表現しています。

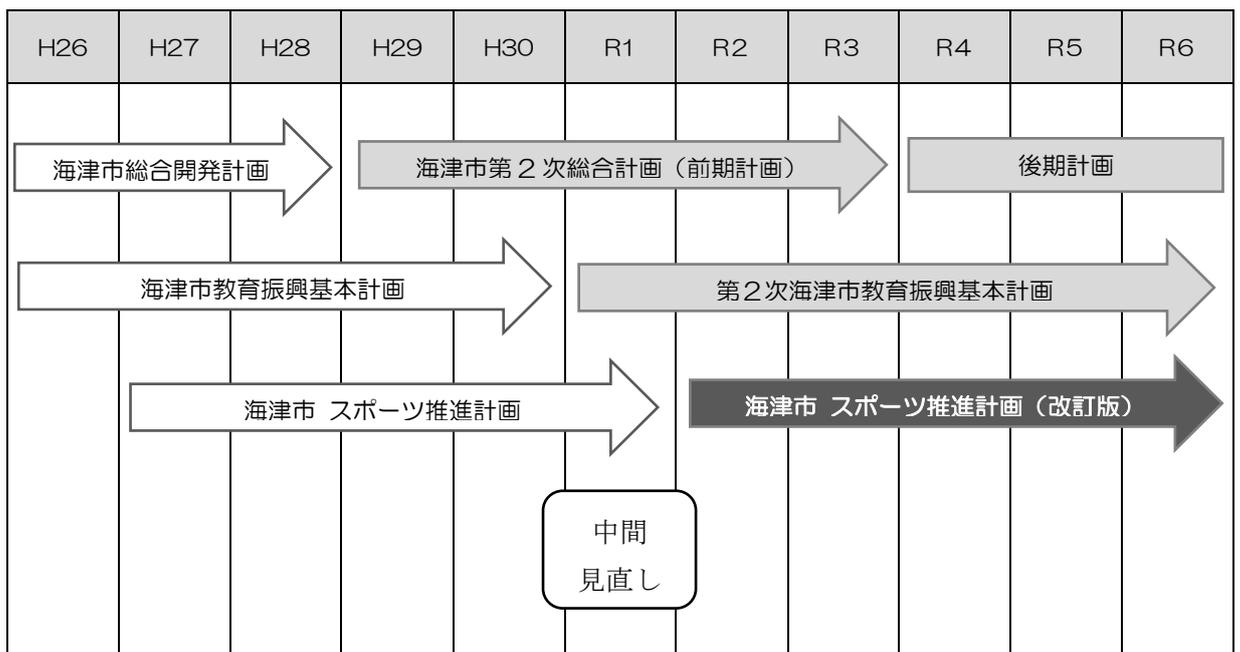
3 計画の位置付け

本計画は、海津市第2次総合計画を上位計画とし、第2次かいづ健康づくりプランなど、他の関連計画との整合性を図りながら、スポーツの推進における基本的な考え方や施策を示すものです。



4 計画の期間

本計画は「海津市スポーツ推進計画」を改訂するものであり、計画期間は令和2年度から令和6年度までの5年間とします。



5 スポーツ推進の意義

(1) 健康増進、介護予防のためのスポーツ

継続的に行う軽い運動は、生活習慣病の予防や身体機能の維持、増進のために効果があります。特に近年、「健康寿命」という考え方が重視されるようになり、介護予防の取組が広まりつつあります。子どもから高齢者まで、障がいのある方も含めて、能力に応じたスポーツを行うことで、市民全体の健康増進につながり、医療費の削減なども期待されます。

(2) 子どもの心身の成長を促すスポーツ

子どもの頃にスポーツに取り組むことは、子どもの体力づくりに加え、集団行動やルールに従って行動する意識、集中力やコミュニケーション能力の向上など、心身の成長において大きな意味を持ちます。また、子どもの頃にスポーツが好きになると、大人になっても機会があればスポーツをしようとする傾向があるとされており、子どものうちにスポーツの楽しさを体感できる機会を持つことが重要です。

(3) 生きがいを育むスポーツ

スポーツは、上達することの楽しみや仲間と一緒にやる楽しみ、上手くいった時の達成感など、様々な楽しみ方ができます。日常的な気晴らしやストレス解消、生きがいの創出などなど、精神的な効果が期待できます。また、「する」スポーツだけでなく、「みる」・「支える」といった様々な関わり方があり、あらためてスポーツを身近なものとして捉えなおすことも重要です。

(4) 地域の絆を支えるスポーツ

スポーツは、集団で力を合わせたり、競い合うなどにより、人と人とのコミュニケーションを生み出すものです。「スポーツ基本法」にも「スポーツは世界共通の人類の文化」とあるように、オリンピックやワールドカップなど、国際的な交流もスポーツの力で行われています。スポーツを行う人が増え、イベントや教室に参加することは、地域内の交流を生み出し、コミュニティを活性化させることにも効果があります。



スポーツの現状と課題

1 スポーツ推進計画策定のためのアンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

スポーツ推進計画策定から5年目となり、より一層のスポーツの推進と健康づくりの為、計画の見直しと計画策定の基礎資料として、調査を実施しました。

② 調査対象

海津市在住の中学生以上を無作為抽出

③ 調査期間

令和元年7月10日から令和元年7月31日

④ 回収状況

配布数 2,000通

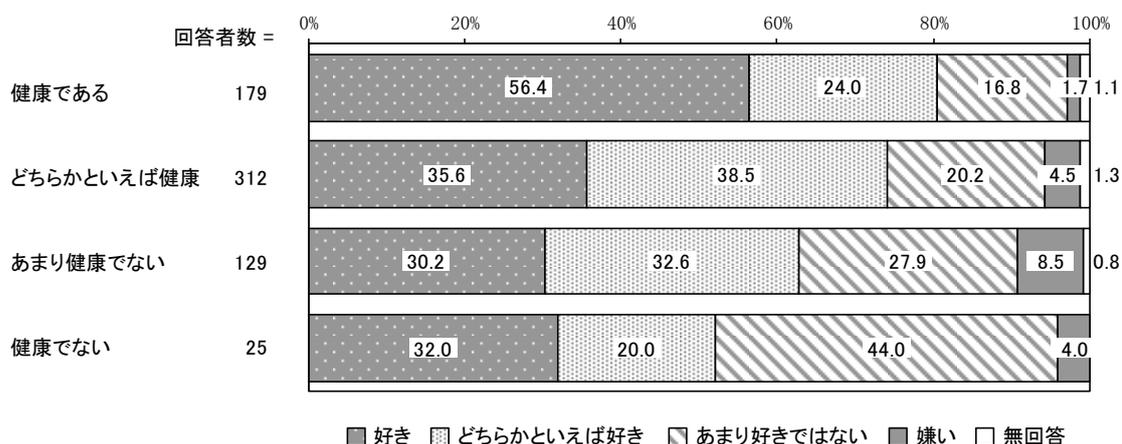
有効回答数 665通（有効回答率33.3%）

(2) 調査結果

① 体を動かすことが好きか

健康状態別にみると、健康な人で「好き」の割合が高くなっています。また、健康でない人で「あまり好きでない」の割合が高く、あまり健康でない人で「嫌い」の割合が高くなっています。

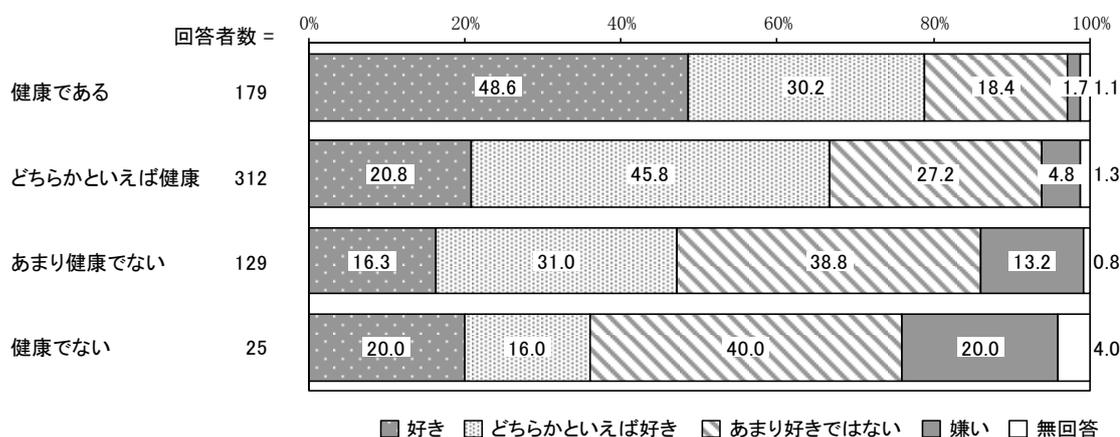
体を動かすことが好きか（健康状態別）



② 運動やスポーツをすることが好きか

健康状態別にみると、健康な人で「好き」の割合が高くなっています。また、健康でない人ほど「嫌い」の割合が高くなる傾向がみられます。

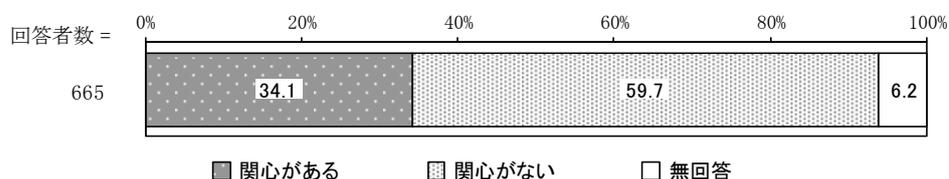
運動やスポーツをすることが好きか（健康状態別）



③ 障がい者スポーツへの関心

「関心がある」の割合が34.1%、「関心がない」の割合が59.7%となっています。

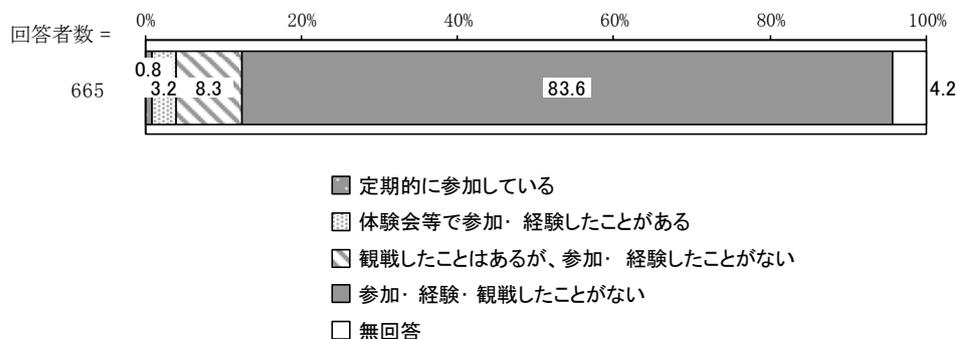
障がい者スポーツへの関心度



④ 障がい者スポーツを行ったり、観戦したりした経験

「参加・経験・観戦したことがない」の割合が83.6%と最も高くなっています。

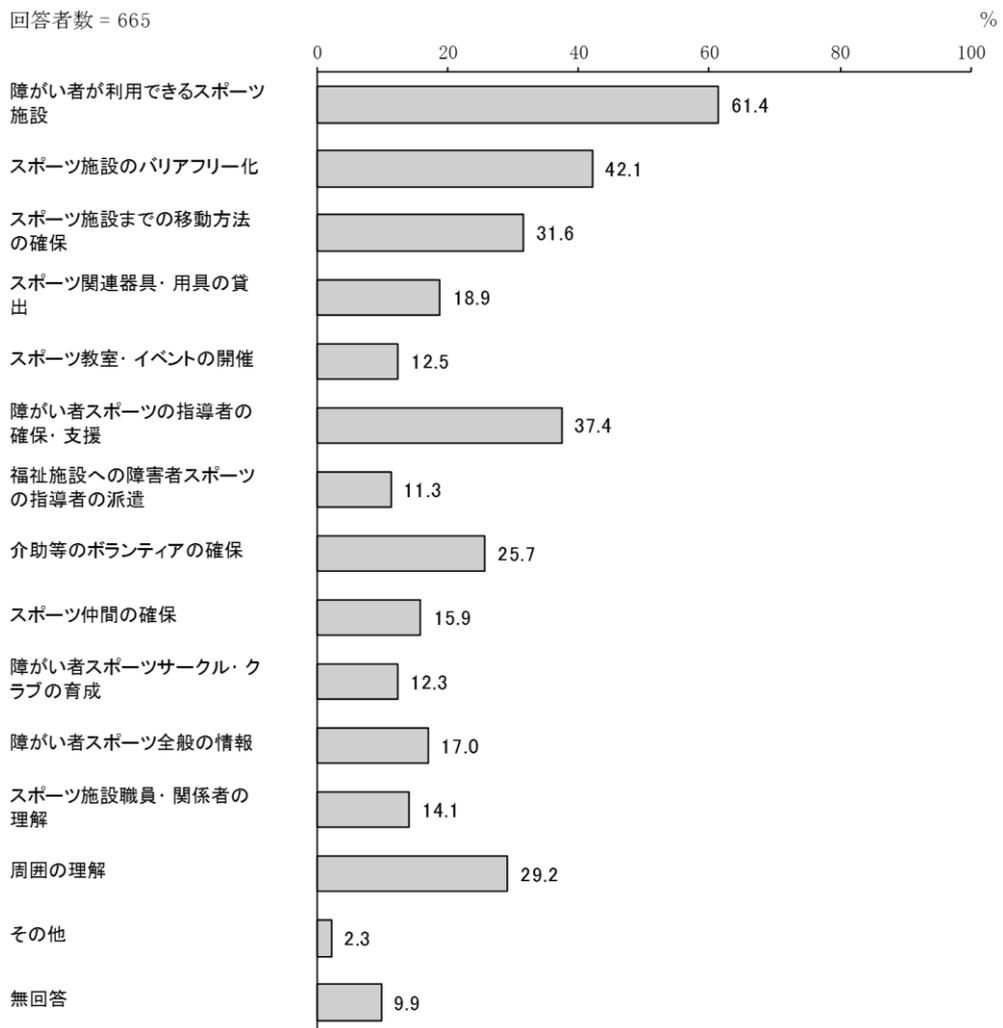
障がい者スポーツを行ったり、観戦したりした経験



⑤ 障がい者スポーツを行ううえで何が必要か（複数回答あり）

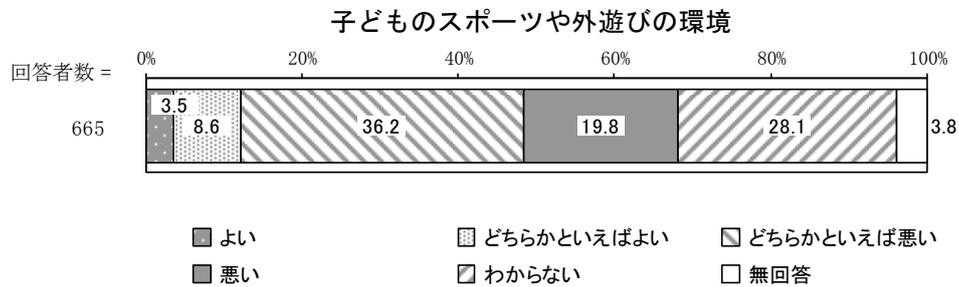
「障がい者が利用できるスポーツ施設」の割合が61.4%と最も高く、次いで「スポーツ施設のバリアフリー化」の割合が42.1%、「障がい者スポーツの指導者の確保・支援」の割合が37.4%となっています。

障がい者スポーツを行ううえで必要なこと



⑥ 今の子どものスポーツや外遊びの環境についてどのように感じるか

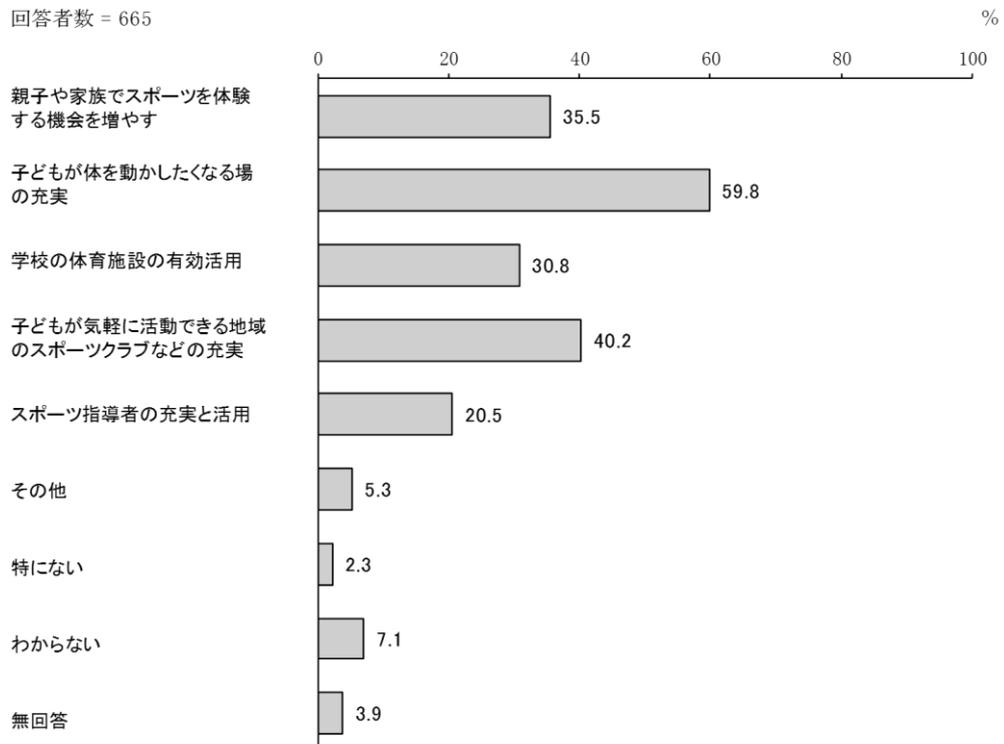
「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた“よい”の割合が12.1%、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた“悪い”の割合が56.0%となっています。



⑦ 子どものスポーツや外遊びの環境を充実するために、どのようなことに力を入れたらよいと思うか（複数回答あり）

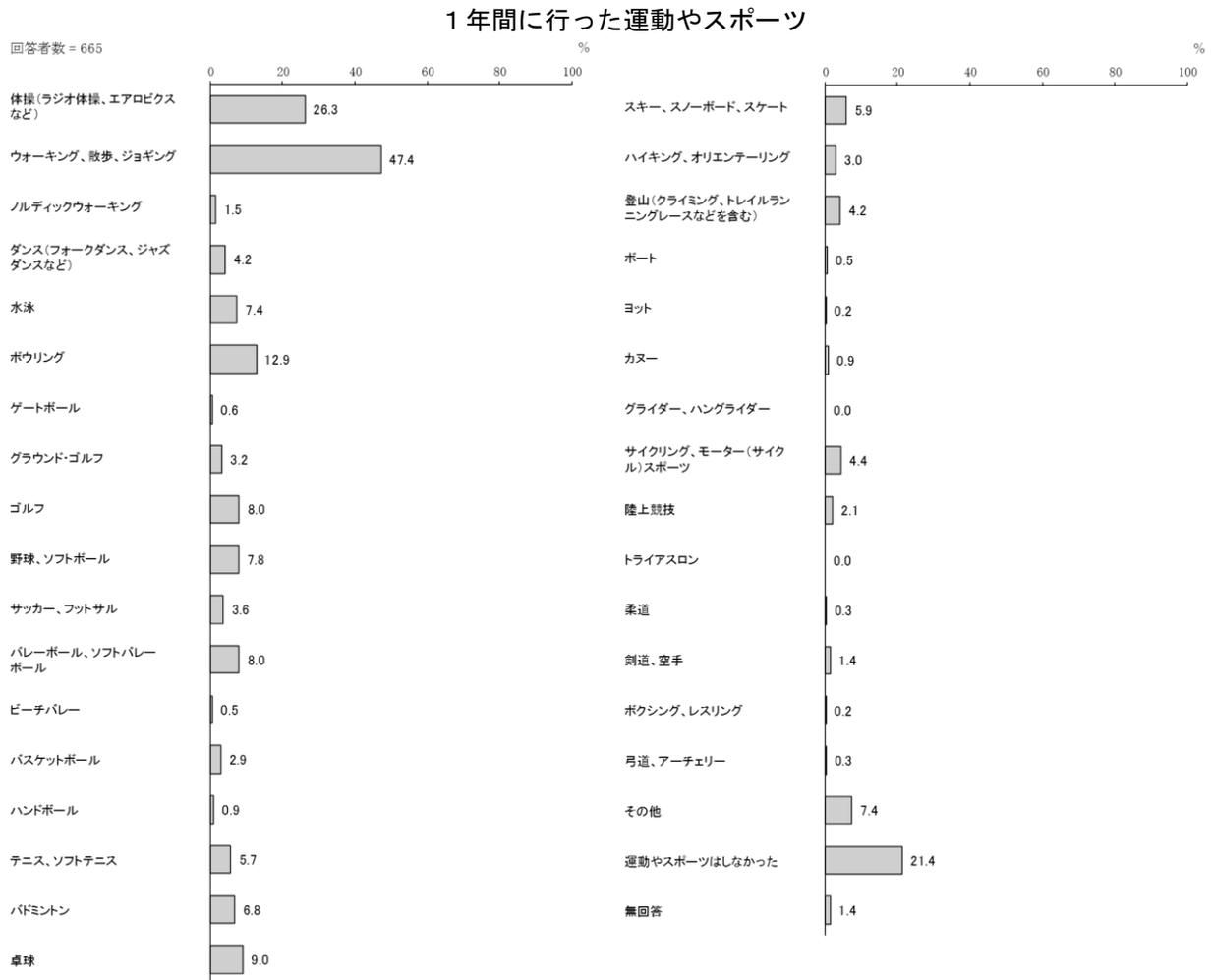
「子どもが体を動かしたくなる場の充実」の割合が59.8%と最も高く、次いで「子どもが気軽に活動できる地域のスポーツクラブなどの充実」の割合が40.2%、「親子や家族でスポーツを体験する機会を増やす」の割合が35.5%となっています。

子どものスポーツや外遊びの環境を充実するために力をいれるべきこと



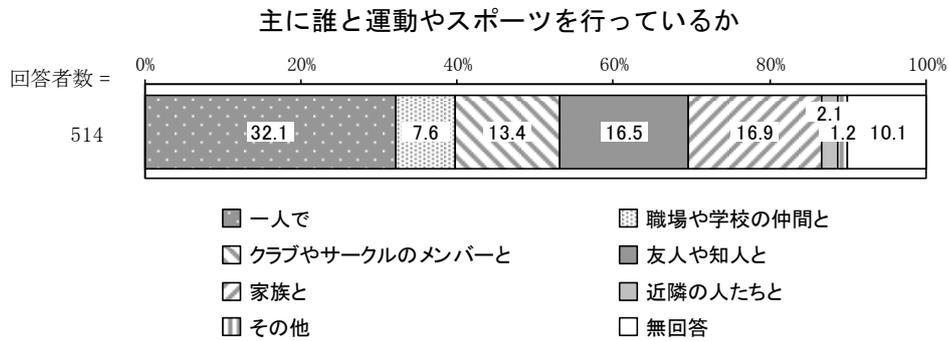
⑧ この1年間に行った運動やスポーツ（複数回答あり）

「ウォーキング、散歩、ジョギング」の割合が47.4%と最も高く、次いで「体操（ラジオ体操、エアロビクスなど）」の割合が26.3%、「運動やスポーツはしなかった」の割合が21.4%となっています。



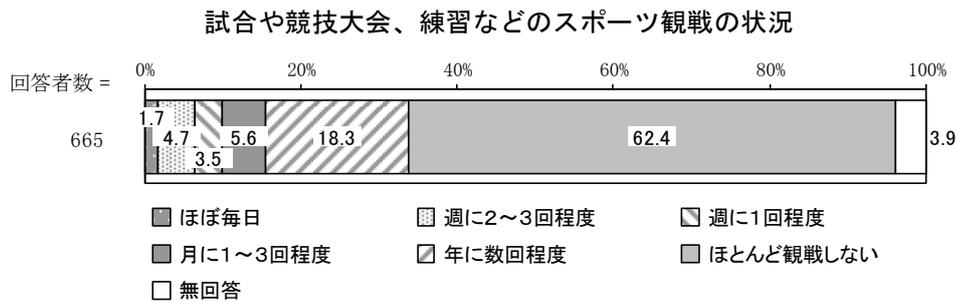
⑨ 主に誰と運動やスポーツを行っているか

「一人で」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「家族と」の割合が 16.9%、「友人や知人と」の割合が 16.5%となっています。



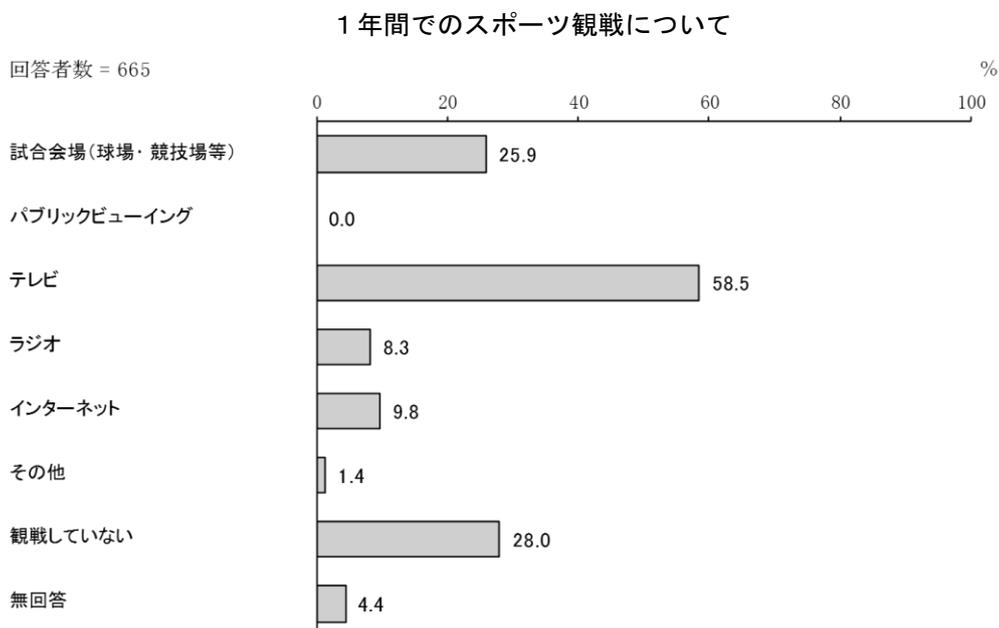
⑩ 試合や競技大会、練習などのスポーツ観戦をどの程度しているか

「ほとんど観戦しない」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が 18.3%となっています。



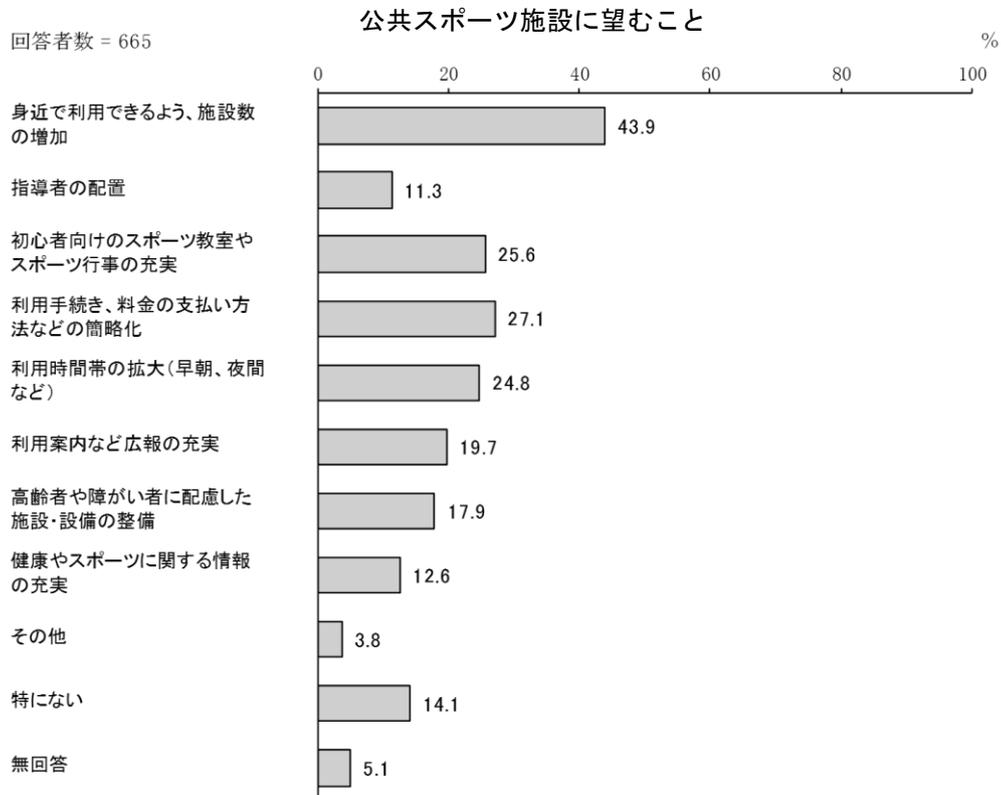
⑪ この1年間でどのようにスポーツを観戦したか（複数回答あり）

「テレビ」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「観戦していない」の割合が 28.0%、「試合会場（球場・競技場等）」の割合が 25.9%となっています。



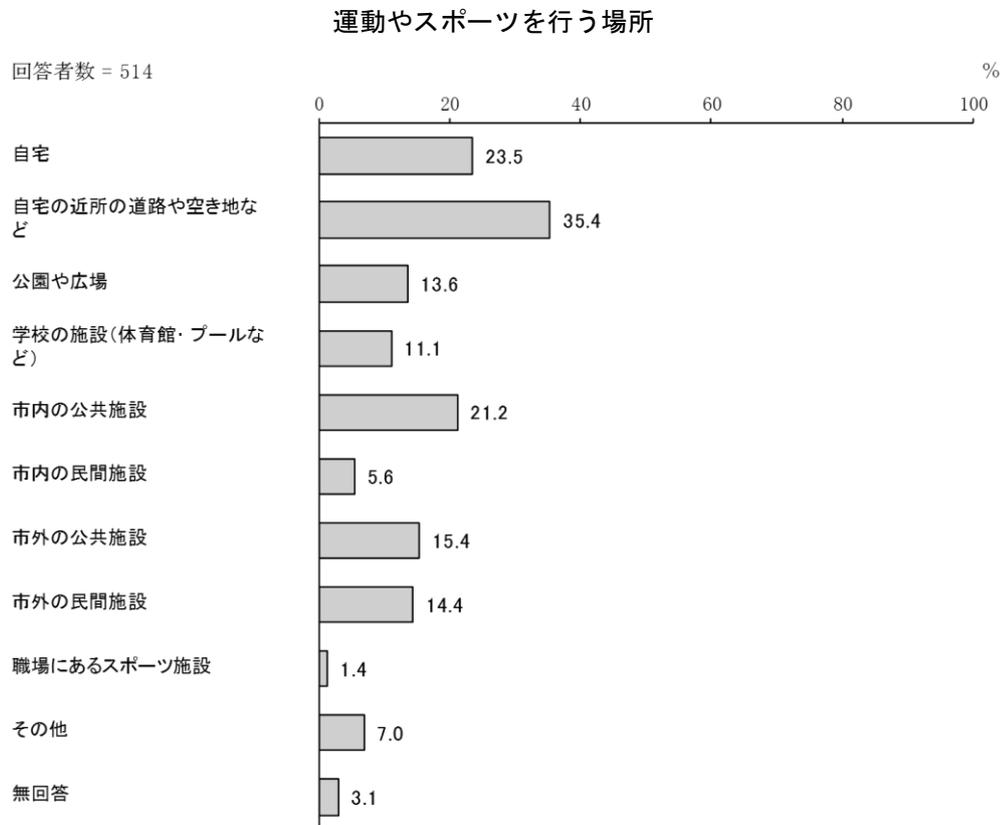
⑫ 公共スポーツ施設について、何か望むことはあるか（複数回答あり）

「身近で利用できるよう、施設数の増加」の割合が43.9%と最も高く、次いで「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」の割合が27.1%、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」の割合が25.6%となっています。



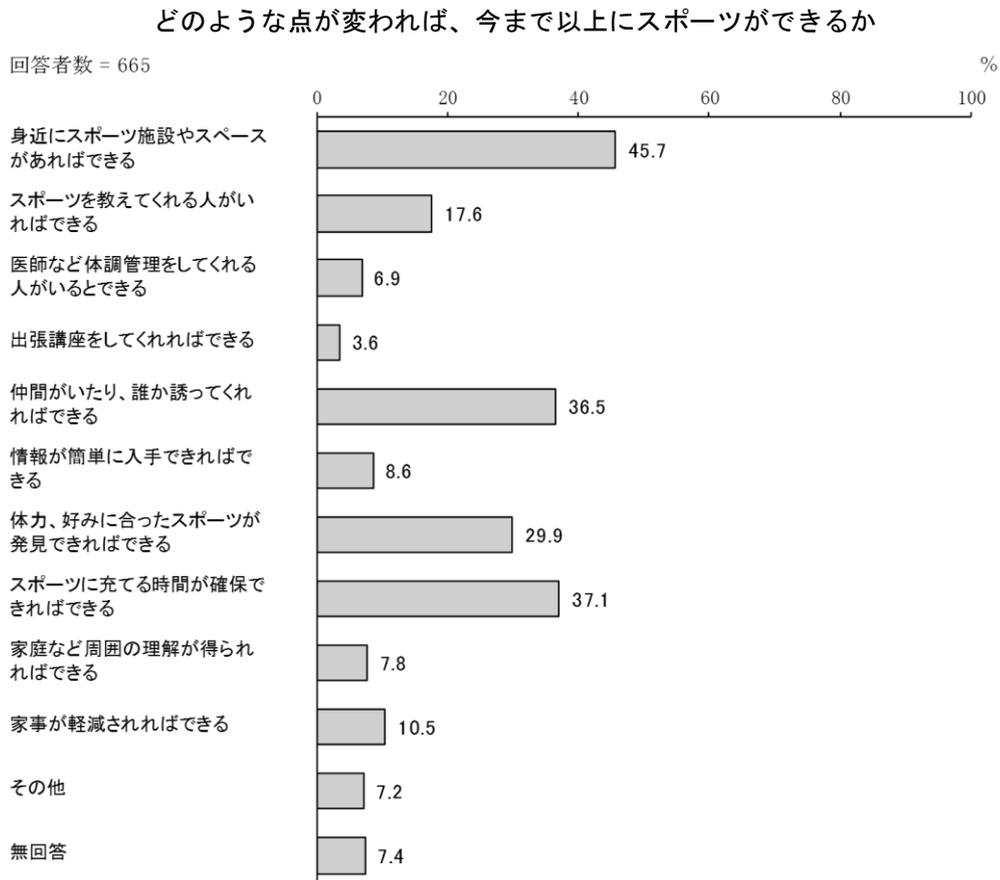
⑬ 普段、どんな場所で運動やスポーツを行っているか（複数回答あり）

「自宅の近所の道路や空き地など」の割合が35.4%と最も高く、次いで「自宅」の割合が23.5%、「市内の公共施設」の割合が21.2%となっています。



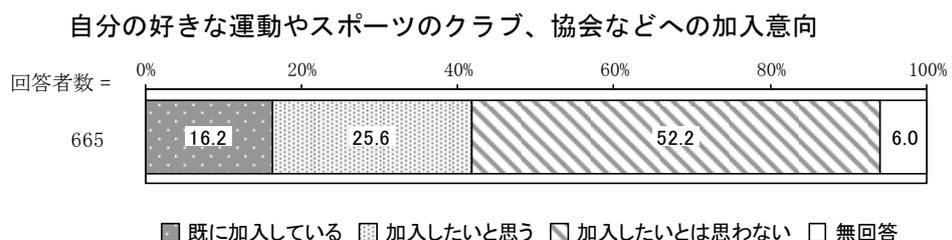
⑭ どのような点が変われば、今まで以上にスポーツができると思うか
(複数回答あり)

「身近にスポーツ施設やスペースがあればできる」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「スポーツに充てる時間が確保できればできる」の割合が 37.1%、「仲間がいたり、誰か誘ってくれればできる」の割合が 36.5%となっています。



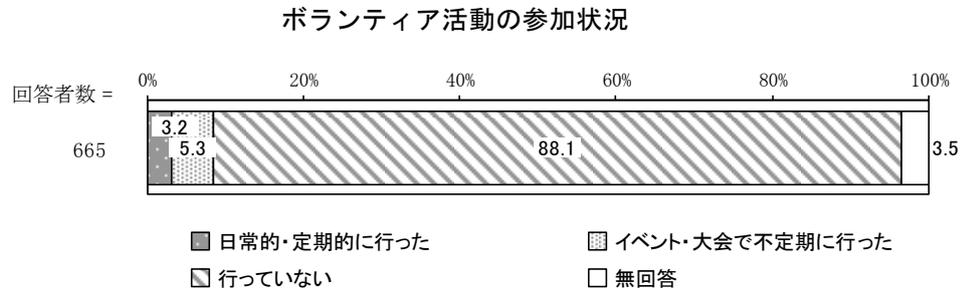
⑮ 自分の好きな運動やスポーツのクラブ、協会などがあれば、あなたは加入したいと思うか

「加入したいとは思わない」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「加入したいと思う」の割合が 25.6%、「既に参加している」の割合が 16.2%となっています。



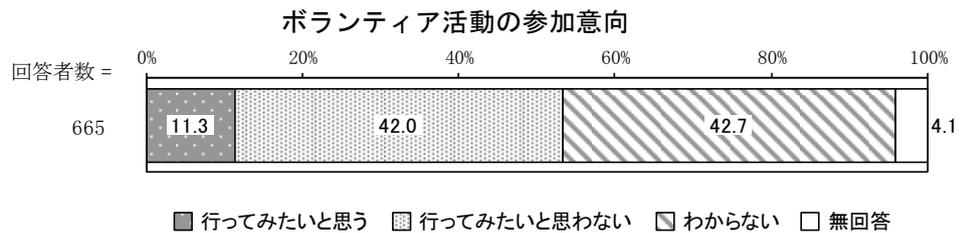
⑩ この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行うか

「行っていない」の割合が88.1%と最も高くなっています。



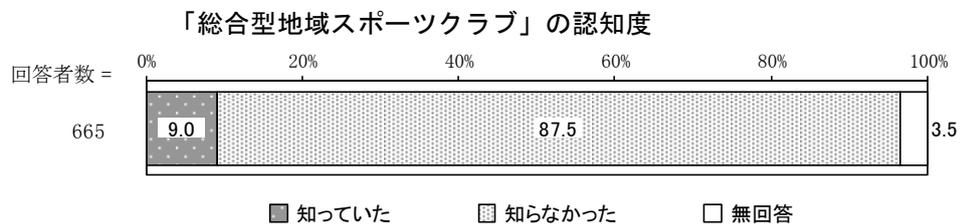
⑪ 今後、スポーツに関するボランティア活動を行ってみたいか

「わからない」の割合が42.7%と最も高く、次いで「行ってみたいと思わない」の割合が42.0%、「行ってみたいと思う」の割合が11.3%となっています。



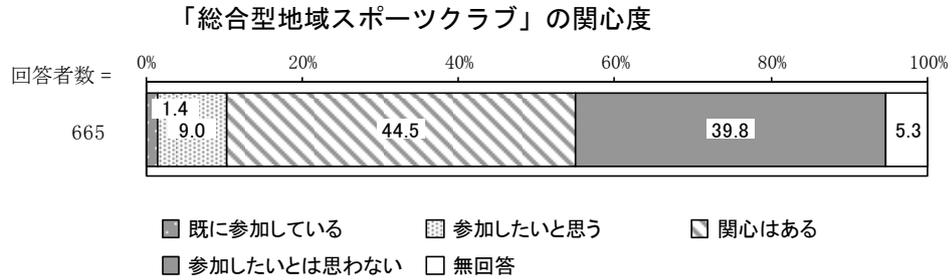
⑫ 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

「知っていた」の割合が9.0%、「知らなかった」の割合が87.5%となっています。



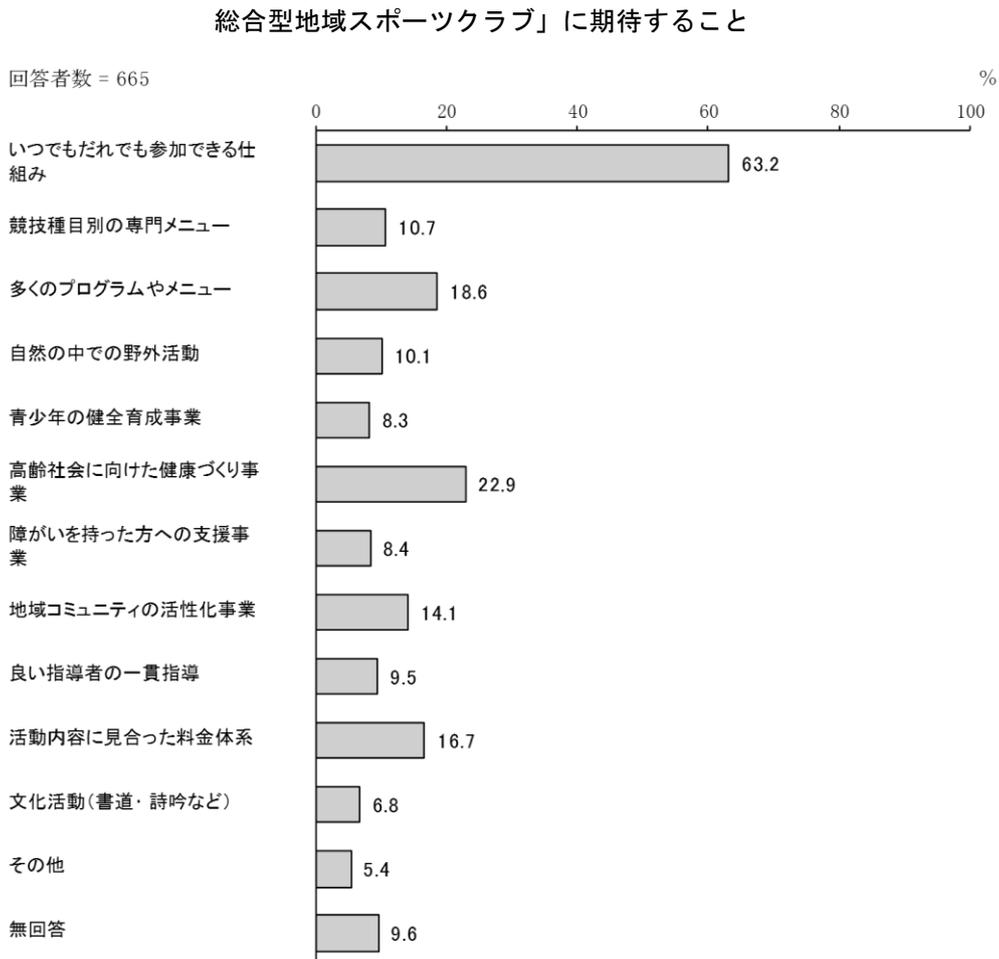
⑱ 「総合型地域スポーツクラブ」の関心度

「関心はある」の割合が44.5%と最も高く、次いで「参加したいとは思わない」の割合が39.8%となっています。



⑳ 「総合型地域スポーツクラブ」に期待すること（複数回答あり）

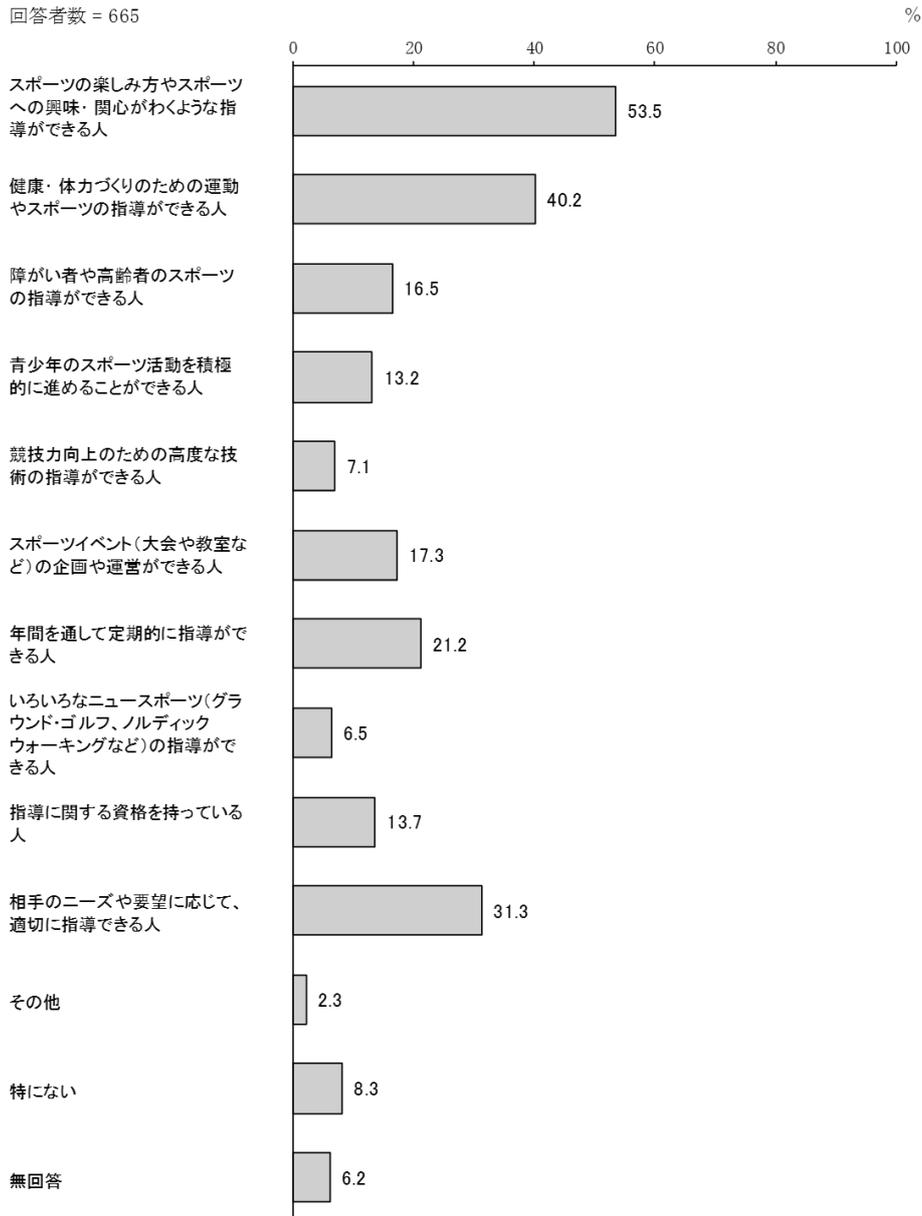
「いつでもだれでも参加できる仕組み」の割合が63.2%と最も高く、次いで「高齢社会に向けた健康づくり事業」の割合が22.9%、「多くのプログラムやメニュー」の割合が18.6%となっています。



⑳ 市民の運動やスポーツを推進するために、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか（複数回答あり）

「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」の割合が53.5%と最も高く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」の割合が40.2%、「相手のニーズや要望に応じて、適切に指導できる人」の割合が31.3%となっています。

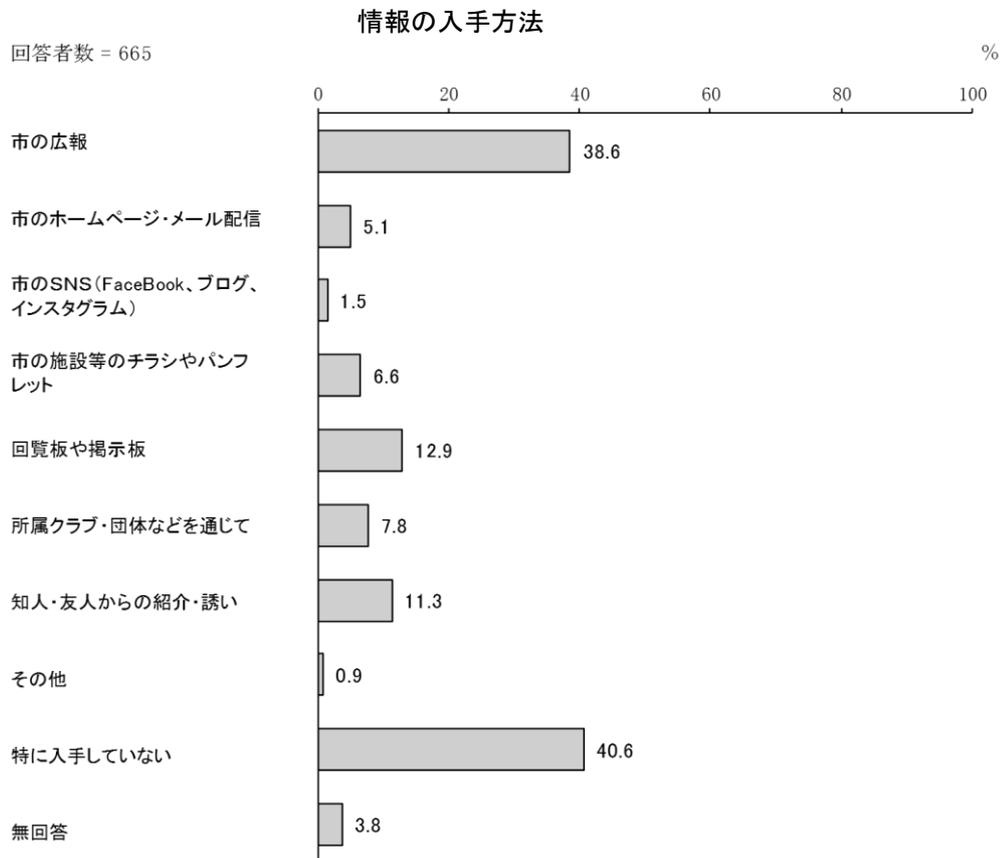
市民の運動やスポーツを推進するための必要なスポーツ指導者



⑫ 市の運動やスポーツに関する情報をどのように入手しているか

(複数回答あり)

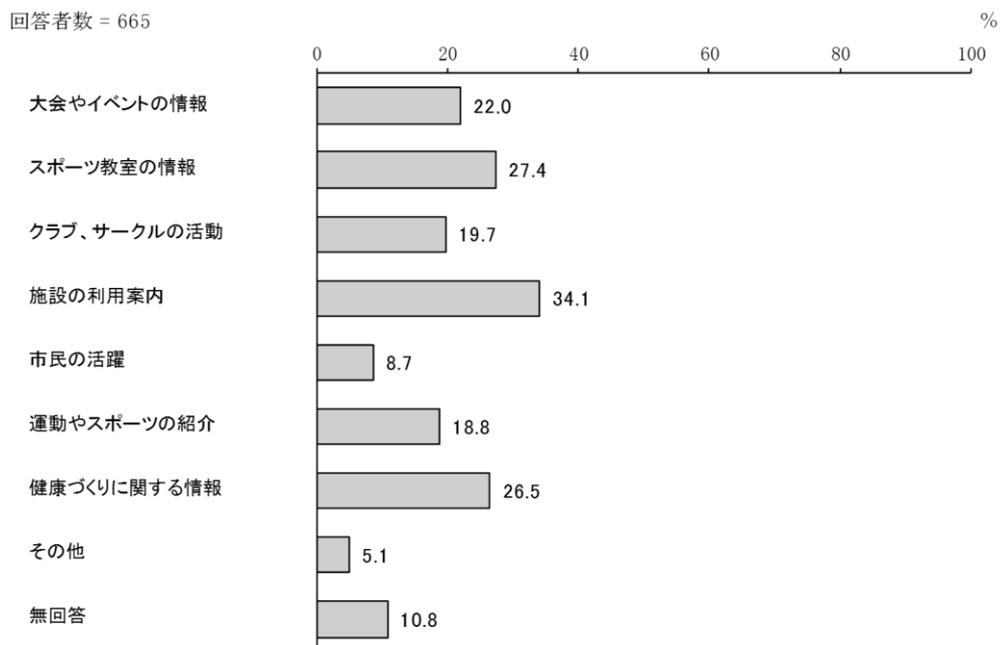
「特に入手していない」の割合が40.6%と最も高く、次いで「市の広報」の割合が38.6%、「回覧板や掲示板」の割合が12.9%となっています。



⑳ 市の運動やスポーツに関する情報としてどのような内容が知りたいか
(複数回答あり)

「施設の利用案内」の割合が34.1%と最も高く、次いで「スポーツ教室の情報」の割合が27.4%、「健康づくりに関する情報」の割合が26.5%となっています。

市の運動やスポーツに関する情報で知りたい内容



2 スポーツ推進における課題

アンケート調査結果から、海津市の今後のスポーツ推進における現状と課題を整理しました。

(1) 多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実

- 障がい者スポーツを推進していく上で、障がい者スポーツの関心度を高めていく必要があります。そのためにも、参加・体験・観戦することのできる機会を増やしていくことが必要です。また、障がい者がスポーツをする機会づくりや、障がい者が利用できるスポーツ施設の整備等も進めていくことが必要です。
- 子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなったと感じている市民が多い中、子どもが気軽に体を動かすことのできる機会や環境を整えていくとともに、親子で行えるスポーツの機会の充実も必要です。

(2) 気軽に参加できる機会の創出

- 現在行っている運動やスポーツは、ウォーキング、散歩、体操など気軽にできるものが多くなっています。またスポーツを行う相手においても、身近な人で行うことが多いことから、身近なところで運動やスポーツができる場の充実が必要です。
- また、スポーツや運動の機会を充実させていくためにも、スポーツイベントの参加を増やすとともに、運動・スポーツに関するイベント等の情報を発信し、市民に広く周知をすることが必要です。
- 試合会場よりもテレビでのスポーツ観戦者が多く、スポーツ観戦を気軽にできるきっかけ・仕組みをつくる必要があります。

(3) 体育施設などの身近なスポーツ環境の充実

- 身近なところで運動やスポーツができる場が求められており、身近で気軽にスポーツができる場を確保するとともに、自宅でできる運動の情報発信など、情報面での環境の充実も図っていくことが必要です。

(4) スポーツ団体の充実

- スポーツ団体へ加入したい市民がいる中で、これらの団体に関する情報を発信し、活動に参加しやすい機会を作っていくことが必要です。
- 総合型地域スポーツクラブに対する市民の認知度はまだまだ低い状況であり、一層の周知を図り、いつでもだれでも参加できる場として拡充していくことが必要です。

(5) スポーツ人材の育成と活用

- スポーツを推進していくためには、支援側である人材を育成していくことが必要です。スポーツに親しみ、興味・関心がわき、また健康・体力づくりなどの指導ができる指導者に求められており、競技スポーツ等の指導者とともに、市民が気軽に運動やスポーツを行うことのできる指導者の育成と活用が必要です。

(6) スポーツに関する情報の収集、発信

- スポーツに関する情報を特に入手していない市民が多くなっています。また、知りたい情報として、施設の利用案内やスポーツ教室の情報など、様々な情報を提供していく必要がある中で、様々な媒体を活用し、情報面での環境の充実を図っていくことが必要です。

3 数値目標の達成状況

本市では、週1回以上のスポーツ実施率を数値目標として掲げており、当初令和6年度の目標値を45%としていました。

令和元年度の週1回以上のスポーツ実施率は、43.6%と令和6年度の目標値に達していないものの、割合は増加しています。

平成26年度実績	令和元年度実績	当初令和6年度の目標値
37.5%	43.6%	45%



基本的な方向性

1 まちづくりにおいてスポーツが担うべき役割

近年、少子高齢化や生活習慣病の増加、共働き世代の増加や情報社会の進展等による地域コミュニティの衰退など、地域は多様な課題に直面しています。

こうした社会において、スポーツは心身の健康増進に寄与するだけでなく、スポーツを介して地域や仲間とのつながりを生み出すなど、人々の健康づくり・生きがいづくり、そして地域のコミュニティづくりに大きな役割を果たすことが期待されます。

2 計画策定の方向性

(1) 基本理念

市民がスポーツを「みること」や「すること」に対して、これまで以上に関心を持ち、健康や生きがい、人とのつながりなど、それぞれの目的やライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるような機会を充実させます。スポーツを日常的にする人が増えることで、多くの市民が健康でいきいきとした日常生活を送れるようになります。

スポーツの力を生かしたまちづくりを進めるため、既存の体育施設の整備・充実やネットワーク化を図るとともに、市民のニーズに合った指導者の養成・確保に努めます。また、地域の特性に応じたスポーツ活動を推進し、それぞれの地域の「誇れるスポーツ」の実現を支援します。

このような考え方より、以下のような基本理念を掲げます。

みんなでスポーツ いきいきライフ

～スポーツの力で 人と地域が元気になるまち かいづ～

(2) 数値目標

基本理念に基づく計画の達成状況を把握する指標として、引き続き、週1回以上のスポーツ実施率を用いることとします。ただし、令和元年度の週1回以上のスポーツ実施率は、43.6%と令和6年度の目標値に達していないものの、割合は増加しています。このことから、令和6年度の目標値を45%から50%に見直します。

週1回以上のスポーツ実施率:37.5%(平成26年度実績)

43.6%(令和元年度実績)

45%⇒50%(令和6年度目標)

(3) 施策の方向

基本理念を実現化するため、以下の4つの方向性を掲げます。

① スポーツを楽しむ機会の創出

多くの市民は、スポーツが好きであり、何らかのスポーツを行いたいと思っています。スポーツを行う理由としては、健康づくりや楽しみ、ストレス解消、人との交流などが挙げられます。こうしたニーズや、市民それぞれのライフスタイルやライフステージなどを踏まえて、スポーツを行う機会の提供を進めていきます。

また、スポーツ人口の底辺の拡大のため、今まで行っていなかった市民が気軽に参加できるようなイベントや初心者向けの教室などを開催するほか、地域の交流を目的としたスポーツイベントの開催を進めます。

これらの取組を通じて、より多くの市民がスポーツに楽しむ機会を創出していきます。

② スポーツ環境の充実

市民が気軽にかつ安全で快適にスポーツができるように、スポーツを行うことができる施設の充実を図ります。適切な維持管理に努めるとともに、利用者の視点に立った利便性の向上を図ります。

また、学校の体育施設のさらなる有効活用や身近な場所でスポーツができる環境を充実させます。

③ スポーツを推進する人材と組織の充実

市民が様々なスポーツを楽しんだり、スポーツの技術を高めていくためには、指導者やスポーツ団体が充実して活動していることが重要です。

スポーツ指導者には、スポーツの楽しさを教えてくれることが期待されており、スポーツにおける安全確保の視点からも、指導者の確保や資質の向上、効果的な活用などを進めていきます。

スポーツ団体については、スポーツに親しもうとする人の受け皿として、市民が生涯を通じてスポーツを行うことができ、競技力の向上を支える存在となるよう、活動の支援を行います。また、それぞれの役割を踏まえつつ、団体相互の連携を強めるとともに、将来的には自立した運営ができるように促していきます。

④ スポーツに関する情報の収集、発信

スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、市内で開催されるイベントや教室への参加を促すための情報の収集、発信を進めます。

また、市内で活動している団体の活動内容などの情報についても広報することで、市民の関心度の向上や団体の活動支援につなげていきます。

(4) 施策の体系

[基本理念]

みんながスポーツの力でいきいきライフ
 さらさらスポーツの力で人と地域が元気になるまち
 かいづる

[施策の方向]

1
 スポーツを楽しむ
 機会の創出

2
 スポーツ環境の
 充実

3
 スポーツを推進す
 る人材と組織の充
 実

4
 スポーツに関する
 情報の収集、発信

[施策と取り組み]

- (1) 多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実
- ①スポーツを通じた健康づくりの推進
 - ②子どものスポーツ活動の推進
 - ③親子、家族で行うスポーツ活動の推進
 - ④障がい者のスポーツ活動の推進
 - ⑤スポーツ活動のレベルアップに向けた支援

- (2) 気軽に参加できる機会の創出
- ①市民のスポーツ大会・イベントの開催
 - ②初心者向けスポーツ教室の開催
 - ③市民のスポーツ観戦機会の創出
 - ④スポーツを通じた地域交流の推進

- (1) 身近なスポーツ環境の充実
- ①多様なニーズに対応した設備の充実
 - ②学校施設の有効活用
 - ③ウォーキングコース等の整備
 - ④身近な施設等でのスポーツ環境の充実
 - ⑤スポーツに関する備品等の充実

- (2) 学校体育の推進
- ①幼児の運動遊びの充実
 - ②学校における体力づくりの推進
 - ③学校部活動とクラブ活動の在り方の検討

- (3) 競技スポーツの推進
- ①選手の育成・強化
 - ②指導者の育成

- (1) スポーツ団体の充実
- ①総合型地域スポーツクラブの育成
 - ②既存スポーツ団体、クラブの活性化
 - ③スポーツ団体間の連携促進

- (2) スポーツ人材の育成と活用
- ①スポーツ指導者の育成、確保及び活用
 - ②スポーツ関係者等の情報共有、交流機会の創出
 - ③トップアスリートの活用
 - ④スポーツボランティアの参加機会の拡大

- ①スポーツイベントに関する情報発信の充実
- ②スポーツ団体の情報発信の充実
- ③スポーツに関する市民の関心度の向上



施策の展開

1 スポーツを楽しむ機会の創出

- ★：重点取組
- ：既存取組（継続・充実）
- ：新規取組

（1）多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実

健康のためにスポーツを行う人が多い一方で、子どものスポーツ環境や、働き盛り、子育て世代のスポーツ実施には課題がある状況です。

スポーツに対する様々なニーズや、世代などの特性に応じて、市民の誰もがスポーツを楽しむことができる機会を創出します。

① スポーツを通じた健康づくりの推進

多様な世代の健康づくりを支援するため、総合型スポーツクラブ等が行うサークルや教室、大会の開催を推進するほか、直接スポーツに関わらないイベント等においても、体力測定を行うことなどにより、市民の健康づくりへの関心を高めつつ、健康づくりにつながる軽スポーツの機会を充実させます。

取組イメージ

- ★○健康づくりにつながる運動の知識の普及、啓発、出前講座の活用
 - ・「体力づくり・健康づくり」講座では簡単な体力測定の後、体力づくり・健康づくりに役立つワンポイントアドバイスを実施。
- 総合型地域スポーツクラブのサークル・教室・ウォーキング大会など
- 各種イベントにおける体力測定
- 軽スポーツ教室の活性化
- 高齢者向けトレーニング教室

② 子どものスポーツ活動の推進

子どものうちにスポーツを好きになり、スポーツに親しむことができる機会を充実させます。また、子どもの健全育成のため、スポーツ少年団などチームスポーツの活動の場となる団体の活動支援を行うほか、外部指導者の活用などによる学校部活動の活性化を図ります。

取組イメージ

- ★○体育協会とスポーツ少年団の交流
 - ・団体同士の交流大会を実施。
- スポーツ少年団活動
- 総合型地域スポーツクラブの教室など
- スポーツアカデミーの開催
- 体育協会などから部活動やスポーツ少年団へ専門のコーチ派遣

③ 親子、家族で行うスポーツ活動の推進

マラソン大会や体育振興会の行事など、身近な地域で、親子や家族で参加できるイベントの充実を図ります。また、スポーツを通じた家族の交流を促進し、働き盛り世代や子育て世代のスポーツ活動への参加を促進するため、親子で参加できるイベントや教室を開催していきます。

取組イメージ

- ★○親子参加型のスポーツイベントの開催
 - ・毎年開催のタスポニー交流大会にて、親子の部を実施。
- かいづっちマラソン大会
- 各地域の体育振興会行事、体育推進員行事

④ 障がい者のスポーツ活動の推進

障がい者主体のスポーツイベントや、障がい者と健常者がともに参加しやすいスポーツイベントや教室を開催し、障がい者のスポーツ機会の充実を図ります。

取組イメージ

- ★●既存大会への応援参加による、市民意識の高揚
 - ・市内スポーツ団体（体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員等）や小中学校へ応援参加を働きかけ、障がい者スポーツにふれる。
- 海津市障がい者フライングディスク大会（海津特別支援学校）
- 長良川ふれあいマラソン大会
- 既存のスポーツイベントにおける障がい者の参加機会の拡充
- スポーツ施設のバリアフリー化の推進

⑤ スポーツ活動のレベルアップに向けた支援

スポーツに取り組む意欲が高い市民や、技術力・競技力の向上を目指す市民に対して、スポーツ活動における様々な支援や、指導者や団体等の情報提供を行うことにより、そのレベルアップを支援する取組を行います。

取組イメージ

- 技術力・競技力の向上のためのスポーツ情報の提供
- ターゲットエイジ選手支援事業

(2) 気軽に参加できる機会の拡充

スポーツをすることは、健康増進だけでなく、生きがいの創出や人との交流にもつながります。スポーツに関心がなく、行っていない市民に対して、スポーツへの興味を持ってもらい、楽しさを体験してもらう機会を拡充します。また、スポーツへの参加を通して地域の交流を深めていきます。

① 市民のスポーツ大会・イベントの開催

市民が気軽に参加しやすいスポーツ大会やイベントを開催していきます。特に、市民が身近な場所で参加できるよう、それぞれの地域における軽スポーツの大会やイベント等を開催していきます。

取組イメージ

- ★○スポーツ推進委員のタスポニー交流大会
- かいづっちマラソン大会
- 各地域の体育振興会行事、体育推進員行事
- オープン大会の開催
- 飛び入り参加イベントの開催

② 初心者向けスポーツ教室の開催

市民のニーズが高く、これまでスポーツを行っていない市民も参加できるような初心者向けスポーツ教室を開催していきます。開催にあたっては、より多くの市民がスポーツに親しみ、自主的に活動していけるよう、スポーツの楽しさを体験できるような指導に配慮します。

取組イメージ

- ★○各種団体での初心者向けスポーツ教室の開催（開催場所、機会の拡充）
 - ・総合型地域スポーツクラブ・体育協会・スポーツ少年団等にて、初心者向けのスポーツ教室を開催。
- 総合型地域スポーツクラブにおける教室の開設
- 市民プールの水泳教室

③ 市民のスポーツ観戦機会の創出

「みる」スポーツを通じて、市民のスポーツに対する関心を高めるため、ボートやカヌー、トライアスロン競技など、海津市の特徴的なスポーツ環境を生かし、市民のスポーツ観戦機会を創出します。スポーツ観戦は、市民とスポーツとの身近な接点となるだけでなく、一流アスリートの競技を観戦することを通じて、将来のトップアスリートの育成にもつながります。

取組イメージ

- ★●F C岐阜ホームタウンデーの市報周知
 - ・年1回、長良川競技場にて海津市の日があり、座席数限定で無料観戦が可能。
- 国際的、全国的なスポーツ大会の誘致、開催
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプの誘致

④ スポーツを通じた地域交流の推進

スポーツの持つ力による地域間交流、地域内交流を促進するためのスポーツイベントの開催を進めます。身近な地域におけるスポーツイベントや、海津市全体でのイベントを開催し、交流を深めていきます。

取組イメージ

- ★●市外地域との交流大会の開催
 - ・タスポニー交流大会等にて市外参加者を募集し、交流を深める。
- かいづちマラソン大会
- 各地域の体育振興会行事、体育推進員行事
- 総合型地域スポーツクラブ行事
- 市全体でのスポーツイベントの開催

2 スポーツ環境の充実

(1) 身近なスポーツ環境の充実

市民が身近な場所でスポーツに親しめるよう、学校施設の有効活用を進めるほか、公園や広場などにおける安全なスポーツ環境の充実を図ります。また、備品の充実や貸出により、市民や団体等が気軽にスポーツを行う支援を行います。

① 多様なニーズに対応した設備の充実

様々なスポーツ種目や市民のニーズに対応できるよう、体育施設における設備の充実を図るほか、高齢者や障がい者にも利用しやすいよう、施設のバリアフリー化を推進します。

取組イメージ

- ★○体育施設の耐震化及び改修
 - ・平田体育館耐震化改修の実施。
- 体育施設の適切な維持管理
- 長良川サービスセンターの利用促進に関する検討
- 体育施設の集約
- スポーツ施設の利用方法などに関する周知
- 社会体育施設のバリアフリー化の推進
- 快適に利用できる設備の充実
- 体育施設へのネーミングライツ（施設に名称を付与する権利）の導入

② 学校施設の有効活用

市民や団体のスポーツ活動の場として、学校施設の体育館やグラウンドなどの開放を進めるとともに、設備の充実を図ります。

取組イメージ

- 市立学校体育施設の開放
- 市立学校体育施設の適正な維持管理、設備の充実

③ ウォーキングコース等（山歩き、トレイルランニング、サイクリング） の整備

市内の名所・旧跡などを結ぶウォーキングコース等を整備し、市民のウォーキングの場を充実させます。その上で、鉄道会社などと連携したウォーキングイベント等を開催し、市民及び市外の人を呼び込むことによって賑わいの創出につなげます。

取組イメージ

★○ウォーキングマップ等の作成

- ・総合型地域スポーツクラブ等へ、ウォーキング大会の開催及びマップ作製を依頼。

○市民、団体によるウォーキングコース等の設定

- 養老山脈トレイルランニングレース
- 石津御嶽登山競争

④ 身近な施設等でのスポーツ環境の充実

体育施設に限定せず、福祉施設や児童施設などにおいても軽スポーツなどがしやすい環境を整備するほか、公園や広場などの身近な場所においても、スポーツがしやすく、子どもが遊びやすい環境を整備します。

取組イメージ

★●スポーツ推進委員の活用

- ・軽スポーツの紹介や提案をし、各種目のやり方、ルール説明、指導を行う。

○公共施設におけるスポーツ活動の推進

○公園や広場におけるスポーツ環境の整備

- 出前講座の活用

⑤ スポーツに関する備品等の充実

市民や団体が軽スポーツやニュースポーツなどに取り組みやすいよう、必要な備品の充実を図ります。備品を活用したスポーツイベントや教室を開催し、参加者が自主的な活動をする際に貸出を行います。

取組イメージ

○備品を活用したイベント等の開催

○軽スポーツ備品の充実

○市民・団体等への備品の貸出

(2) 学校体育の推進

市民が身近な場所でスポーツに親しめるよう、学校施設の有効活用を進めるほか、公園や広場などにおける安全なスポーツ環境の充実を図ります。また、備品の充実や貸出により、市民や団体等が気軽にスポーツを行う支援を行います。

① 幼児の運動遊びの充実

一人ひとりの幼児の興味や生活経験に応じた遊びの中で、幼児自らが体を動かす楽しさや心地よさを実感することができるよう、幼児が自発的に体を動かして遊ぶ機会を確保するとともに、幼児が楽しく体を動かして遊んでいる中で、多様な動きを身に付けていくことができるように、様々な遊びが体験できる機会の充実を図ります。

取組イメージ

- ★●親子参加型のスポーツイベント、教室の開催
 - ・スポーツ推進委員を活用した、軽スポーツ教室の開催。
- 公園や広場におけるスポーツ環境の整備

② 学校における体力づくりの推進

児童生徒が仲間とともに運動する楽しさや記録更新の喜びを味わい、自主的に運動に親しむ習慣を身に付けることができるよう、体力づくりのプログラムの検討を行っています。

また、児童生徒の発達段階に応じた目標を設定し、児童生徒が運動やスポーツに取り組む意欲を高めていきます。

取組イメージ

- スポーツ体カテストの実施
- スポーツ少年団への加入促進

③ 学校部活動とクラブ活動の在り方の検討

学校教育課や各学校との連携を図り、市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等との話し合いや協力のもと、望ましい体制づくりを行います。また、部活動とクラブ活動の位置付けを検討すると共に、指導者の確保・育成を行っていきます。

取組イメージ

- ★●スポーツ指導者バンクの整備と活用
- 外部指導者の導入

(3) 競技スポーツの推進

全国的なスポーツ大会、県レベルのスポーツ大会への参加を支援し、市レベルのスポーツ大会の開催や関係団体への助成を通じて競技スポーツの拡大を図るとともに、トップアスリートの発掘・育成、指導者の確保・育成、スポーツ環境の整備などにより、上位の大会へ本市出身の選手がより多く出場できるよう、スポーツ競技力の強化を図ります。

① 選手の育成・強化

次世代のアスリートとして活躍する選手が本市から生まれるよう、市体育協会や競技団体、学校等と連携し、強化育成に取り組めます。

取組イメージ

- ★●スポーツ表彰の実施
 - ・体育協会イベント時に、優秀団体・個人への表彰を行う。
- トップアスリートによるスポーツクリニックの実施
- 全国大会への参加支援（報奨金の交付など）

② 指導者の育成

競技スポーツ力向上のため指導者の育成を図るとともに、発達段階に応じた適切な指導や計画に基づいた、ジュニア世代から一貫した選手育成ができる体制の基盤づくりを推進します。

取組イメージ

- ★●スポーツ指導者バンクの整備と活用
- 外部指導者の導入

3 スポーツを推進する人材と組織の充実

(1) スポーツ団体の充実

スポーツ団体は、子どもから大人まで、スポーツを継続的に行ったり、競技力を高めたりする上で、活動の基盤としての役割を担っています。それぞれの団体の特性に応じた活動を支援するとともに、連携や役割分担を明確化するなどにより、団体の充実を図ります。

① 総合型地域スポーツクラブの育成

現在市内で活動している総合型地域スポーツクラブについて、円滑な運営ができるよう、クラブマネージャーや指導者等の資質向上を促し、自主運営への働きかけなど、クラブの育成を行います。将来的には、クラブの統合や、より自立性の高い運営への変革に向けた検討、推進を支援していきます。

取組イメージ

- ★●総合型地域スポーツクラブの活動の趣旨や取り組み内容の周知
 - ・PRチラシを市内小学校へ配布
 - クラブマネージャーの研修・資格の取得
 - 自主運営への働きかけ
 - 後進の育成、機能的な組織となるための変革
 - 総合型地域スポーツクラブへの地域のスポーツイベントの開催委託

② 既存スポーツ団体、クラブの活性化

体育協会等、既存のスポーツ団体やクラブへの活動の支援を行い、活性化を図ります。その上で、自立的な運営ができるよう、活動内容に応じた適切な支援を行います。

海津市体育協会については、運営強化のための法人化に向けた検討を行います。

取組イメージ

- ★●初心者向けスポーツ教室の開催
 - ・未経験者でも参加可能な、体験教室を開催。
 - 活動内容、活動実績に応じた支援の仕組みづくり
 - スポーツ単位団体の統廃合
 - 全国大会への参加支援（報奨費の交付など）
 - 体育協会の法人化に向けた検討
 - オープン大会の開催

③ スポーツ団体間の連携促進

市内で活動している様々なスポーツ団体間の連携を促し、それぞれの活動の活性化や、運営の効率化などを進めます。また、市民の幅広いニーズに対応できるよう、効率的な運営のための団体間の統合について検討し、適切に推進します。

取組イメージ

- ★○総合型地域スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団の統合に向けた検討
 - ・統合を実現した先進地より講師を招き、課題・問題解決事例等の指導を受ける。
- それぞれの団体が補うことで、幅広いニーズに対応できるスポーツ団体への成長

(2) スポーツ人材の育成と活用

市民がスポーツに親しみ、また、技術を向上させるためには、適切な指導者がいることが必要です。スポーツ指導者の育成や活用を推進するとともに、国体での経験を生かし、スポーツイベントにおけるボランティアの組織化を図ります。市内でスポーツに関わる人材間の情報共有、交流のための機会を創出し、連携した取組や活動の質の向上を図ります。

また、トップアスリートと連携したイベントや教室などを開催してスポーツへの市民の関心を高めていきます。

① スポーツ指導者の育成、確保及び活用

スポーツ指導者に対する研修を充実させ、資質の向上を図ります。また、市民のニーズに合った指導が行えるよう、指導者間の情報交換や情報共有を進めます。

取組イメージ

- ★○指導者資格の取得に対する補助
 - ・活動補助の一部を、指導者資格取得補助に充てる。
- 指導者研修の実施や紹介
- スポーツ推進委員の資質向上
- スポーツ指導者バンクの整備と活用
- 中学校への外部指導者派遣の推奨

② スポーツ関係者等の情報共有、交流機会の創出

スポーツ団体や指導者、スポーツ施設管理者等が情報を共有し交流する機会を創出します。定期的に情報交換し、大会や広報などにおいて連携できるような関係づくりを進め、それぞれの活動の活発化につなげていきます。

取組イメージ

- スポーツ関係者連絡協議会の設置、開催

③ トップアスリートの活用

地元出身のトップアスリートを招待したスポーツ教室、スポーツイベントを開催するほか、県の人材バンク等を利用し、市民がスポーツに関心を持ち、子どもたちに夢を与えるような機会を創出します。

取組イメージ

- 地元から生まれたアスリートによる指導
- スポーツイベントにおけるトップアスリートの招待

④ スポーツボランティアの参加機会の拡大

広域的なスポーツ大会や市民スポーツ大会の開催において、スポーツボランティアを募り、活動の場を与えることでスポーツボランティアの参加機会の拡大を図ります。またボランティアの登録制度を創設し、ボランティアに参加しやすく活動しやすい環境を整えます。

取組イメージ

- スポーツイベントにおけるボランティア活用の推進
- スポーツボランティア登録制度の創設、組織化
- 全国的なスポーツイベント開催に向けた機運醸成と人材育成

4 スポーツに関する情報の収集、発信

① スポーツイベントに関する情報発信の充実

各スポーツ団体及びスポーツ推進委員の活動内容や、団体が行っているイベント等の情報発信について、より多くの市民の目に触れやすいよう、情報発信の場を提供するなどの支援を行います。

取組イメージ

- ★○市報での軽スポーツ教室のスケジュール（毎月）・スポーツイベントの案内
- 総合型地域スポーツクラブの折込チラシ
- 各種大会結果の掲載

② スポーツ団体の情報発信の充実

様々なスポーツイベントや教室の開催にあたって、より多くの市民が関心を持ち、参加していただけるよう、市報やHPなどの各種媒体を活用し、情報発信の充実を図ります。

取組イメージ

- ★●活躍した地元選手の情報発信
- 市HPと各スポーツ団体HPのリンク
- スポーツ団体の情報発信に関する支援
- 市のスポーツ広報紙を発行、配布

③ スポーツに関する市民の関心度の向上

健康づくりの場をはじめ、各種公共施設、観光スポット、イベントの開催など、様々な場や機会を活用して、スポーツ関連情報を発信することで、市民がスポーツに興味を持ち、スポーツをはじめのきっかけが生まれるような取組を進めます。

取組イメージ

- ★○多様な公共施設、イベントにおけるスポーツ情報の発信（スポーツに関わらないものも含めた積極的な展開）
- 日常生活にスポーツ的な要素を取り入れる情報の発信



計画の推進

1 市民、団体、市の役割

スポーツの推進においては、市民、スポーツ関係団体、市がそれぞれの役割を認識し、主体的に活動することが重要です。それぞれの主体については、以下のような役割が期待されます。

(1) 市民

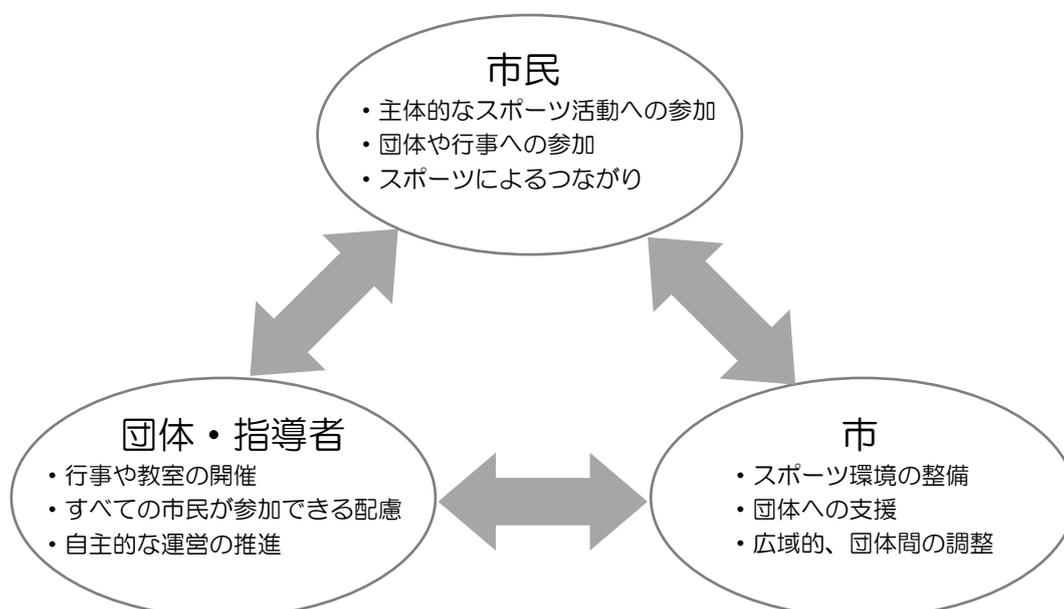
- ・日常的に身体を動かし、スポーツを楽しむこと
- ・スポーツ団体や行事に積極的に参加すること
- ・スポーツを通じて家族や地域のつながりを育むこと

(2) スポーツ関係団体及び指導者

- ・市民が気軽に、楽しく参加できる行事や教室を積極的に開催すること
- ・すべての市民が参加できるよう行事や教室に配慮すること
- ・自主的な運営に努め、積極的に市のスポーツ推進に寄与すること

(3) 市

- ・スポーツ施設をはじめとする環境の整備に努めること
- ・団体や指導者の活動を支援し、多様なスポーツ機会を市民に提供すること
- ・広域的な調整や、団体間の連携を図ること



2 推進体制

計画の推進においては、学識経験者や関係団体の代表者などで構成する「海津市スポーツ推進審議会」によって、計画の進行管理や評価を行い、取組の充実を図ります。